

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をただすものです。

自由民主党
鈴鹿市議員

森 雅之 議員

DXの推進について

（質問）自治会・住民向けDXツールの導入について伺う。

（答弁）自治会・住民向けDXツールは、自治会員に対する情報発信や役員同士の連絡・調整が可能な、情報共有において効果的なツールであり、広報紙や回覧のデジタル化により、自治会の事務負担軽減につながると期待している。自治会の意向を踏まえ、さまざまな課題を含めて、DXツールの導入を前向きに検討していきたいと考えている。

その他の質問 ○公共施設（就学前施設）における今後の方向性



公明党

藤浪 清司 議員

中東情勢に伴う市内経済と市民生活への対応について

（質問）中東情勢に伴う市内経済と市民生活への影響に対応するため、市長が中心となって、国・県と連携を密にして対応する必要があると考えるがいかがか。

（答弁）中東情勢の緊迫化による市民生活や市内経済への影響は広範囲にわたっており、その対応については非常に重要であると認識している。課題の解決につながる財政支援や効果的な経済対策を国に求めるなどの役割をしっかりと果たしていきたい。

その他の質問 ○公共施設マネジメント



新緑風会

加藤 公友 議員

中学校部活動の地域展開について

（質問）令和8年10月から始まる休日部活動の地域展開、活動体制の現状と持続可能な仕組みづくりに向けた今後の方向性について伺う。

（答弁）休日の部活動は地域団体による活動へ移行する。今年度は地域展開の初期段階として課題やニーズを把握しながら、教育委員会と文化スポーツ部が連携し、地域の受け皿づくりや活動環境の充実を進め、本市に合った持続可能な体制づくりと、中学生が継続して活動できる環境の確保を目指す。

その他の質問 ○地域産業の持続的発展
OF1日本グランプリ継続開催に向けた取り組み



無所属

桐生 常朗 議員

人事制度について

（質問）AIの進展で働き方が変わり、公務員の採用難や若手の離職も深刻化している。意欲を持って働くには、評価が公平で、頑張りが処遇に反映される人事評価制度が必要。一方で、本市の制度では職員の努力はほとんど処遇に反映されない。残業時間ではなく、職員一人ひとりの努力と成果が処遇に反映される仕組みの構築を目指すべき。

（答弁）評価者による評価の偏りは課題であり、公平な評価制度構築を目指す。今後は上位者の勤勉手当への増額反映や昇給などへの反映を前向きに進めていく。



自由民主党
鈴鹿市議員

太田 龍三 議員

児童を猛暑から守る登下校時の熱中症対策について

（質問）全市立小学校・全450学級への「冷却グッズ再凍結用小型冷凍庫」一斉設置を求める。

（答弁）児童生徒の健康維持を図る熱中症対策の一つと認識している。設置場所の確保や電気容量の確認、衛生面での管理方法などの課題がある。一部の学校へ実際に冷凍庫を設置し、運用上の課題や効果、現場の負担などを検証していく。その検証結果を踏まえ、今後の対応について、慎重に検討を重ね、児童生徒が安心して学べる環境づくりに努める。



市民の声

市川 昇 議員

鈴鹿市の文化財について

（質問）仏像に関する文化財指定について、①指定件数および②府南寺仏像群の今後の取り組み。天然記念物の樹木について、③指定件数および④長太の大楠の現状と回復に向けた取り組み。以上4点についてお聞きしたい。

（答弁）①21件。②文化財保護審議会をはじめとする専門家の知見を得ながら市内文化財の調査研究を進め、公平性・客観性を軸とし推進していく。③11件。④次世代への確実な継承のため所有者、地域住民、専門家との連携を強化し、適切な保護と樹勢回復に向けた取り組みを粘り強く進めていく。

